

暑さも少し落ち着き過ごしやすい気候となってきましたね。日中はまだ汗ばむときもあり、子どもたちもよく汗をかいています。子どもは新陳代謝がよく、汗をかきやすいので涼しくなっても厚着しないように注意しましょう。

## 9月の感染症状況

- ・新型コロナウイルス感染症…2名
- ・咽頭結膜炎（プール熱）…1名
- ・アデノウイルス感染症…1名
- ・手足口病…1名

## 秋の花粉症とダニアレルギー

10月頃までの秋の花粉症は、ブタクサ・ヨモギ・カナムグラがあります。いずれもスギやヒノキのように風に乗って飛散することはありませんが、花粉の粒子がスギ・ヒノキよりも小さいため家の中へ侵入しやすいという特徴もあります。

秋は花粉症だけではなく、症状や流行時期も重なるダニアレルギーにも注意です。ダニは夏の間繁殖し、9月頃から死骸となります。空気が乾燥する秋から冬にかけてはダニの死骸や糞が空気中に舞いやすく、吸い込むことでアレルギー症状を引き起こす原因となります。

### <お願い>

- ・まだ蚊が多いため、もうしばらく毎日登園前に虫よけを忘れずしてきてください。
- ・貼付薬を貼って登園する場合は、上から絆創膏を貼って登園してください。

## インフルエンザ予防接種の時期です

インフルエンザは、通年12月後半頃から流行期となりますが、今年は8月から学級閉鎖になっている学校もあり、9月には流行目安の基準を超えて例年より早く流行期に入っています。インフルエンザの予防接種は10月からスタートします。予防接種を受ければ必ず罹らないというわけではありませんが、罹る確率や重症化リスクは減らすことができます。インフルエンザは肺炎やインフルエンザ脳症などを合併することもあるため、集団生活を送るうえでは予防接種を受けて予防することをおすすめします。

※当園の職員は11月に集団接種予定です。



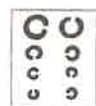
## 10月10日は目の愛護デー

幼児クラスは10月中に視力検査を予定しています

子どもの目は毎日発達しており、6歳頃に大人の視力まで完成すると言われています。最近、幼児期からスマホやタブレット、携帯ゲームなどに触れる機会が多くなっています。長時間の使用は視力の低下や、瞬きの減少によりドライアイになったり、画面から出るブルーライトは目の疲れや痛みを引き起こしたりします。年齢が低いほど、ブルーライトの影響を受けやすいといわれているため、スマホやタブレット、ゲーム機器の使用は時間を決め、画面に近づきすぎないように気をつけましょう。

### こんな見方は危険信号！

- ・テレビや絵本に近付いて見る
- ・明るい戸外でまぶしがる
- ・目を細めて見る
- ・上目遣いや顔を傾けて物を見る
- ・目つきが悪い、目が寄っている など



幼児クラスは10月～11月に視力検査を看護師が行う予定としています。そらぐみは初めてのため、何回か個別で練習をしてから行いたいと思います。受診目安の結果になった場合は、受診報告書をお渡ししますので、受診していただくようお願いします。

13歳未満の子どもは2回接種が必要となり、2回目との間隔は2～4週間あける必要があります。

一般的な流行期である12月までに抗体をつけるには、10月に1回目の接種を行うことが推奨されています。すでに予約を開始しているクリニックが多いので、計画的にスケジュールをたてましょう！

例年同様、園でも接種状況を把握させていただきたいと思います。

予防接種を受けられたら、コードモンの記載で構いませんのでご連絡いただきますようお願いいたします。（※予防接種後の登園はお控えください）